

C-96 シャツブラウスの既製号数サイズ選択時における消費者志向の基礎的研究
大妻女大家政 ○佐藤曉子 関本房代 加々美裕子 石井とめ子

目的 既製服サイズに関しましては種々の研究がおこなわれている。今回の調査には基本形のシャツブラウスをとりあげ、メーカー側の規格するサイズに対してシャツブラウスを選択する消費者側の適応反応を調査分析し、その内包する諸因子について考察を試みた。

方法 大妻女子大生(19才～20才)130名を対象に、マルチン人体計測器により頸付根囲、背肩幅、胸囲などの主要項目について計測をおこない、号数サイズ別に分類、検討した。さらに被計測者のシャツブラウスをJIS規格に基づいて採寸し、同時にアンケートにより既製服を選択する際の意識、志向調査をもおこなった。

結果 シャツブラウスの号数サイズに対して人体の計測サイズの適合度にバラツキがみられた。この原因として各メーカーの規格サイズが一定していないことや、号数サイズに対する人体寸法の許容量は、嗜好性、生理的要因という個人差によるところが大きい。